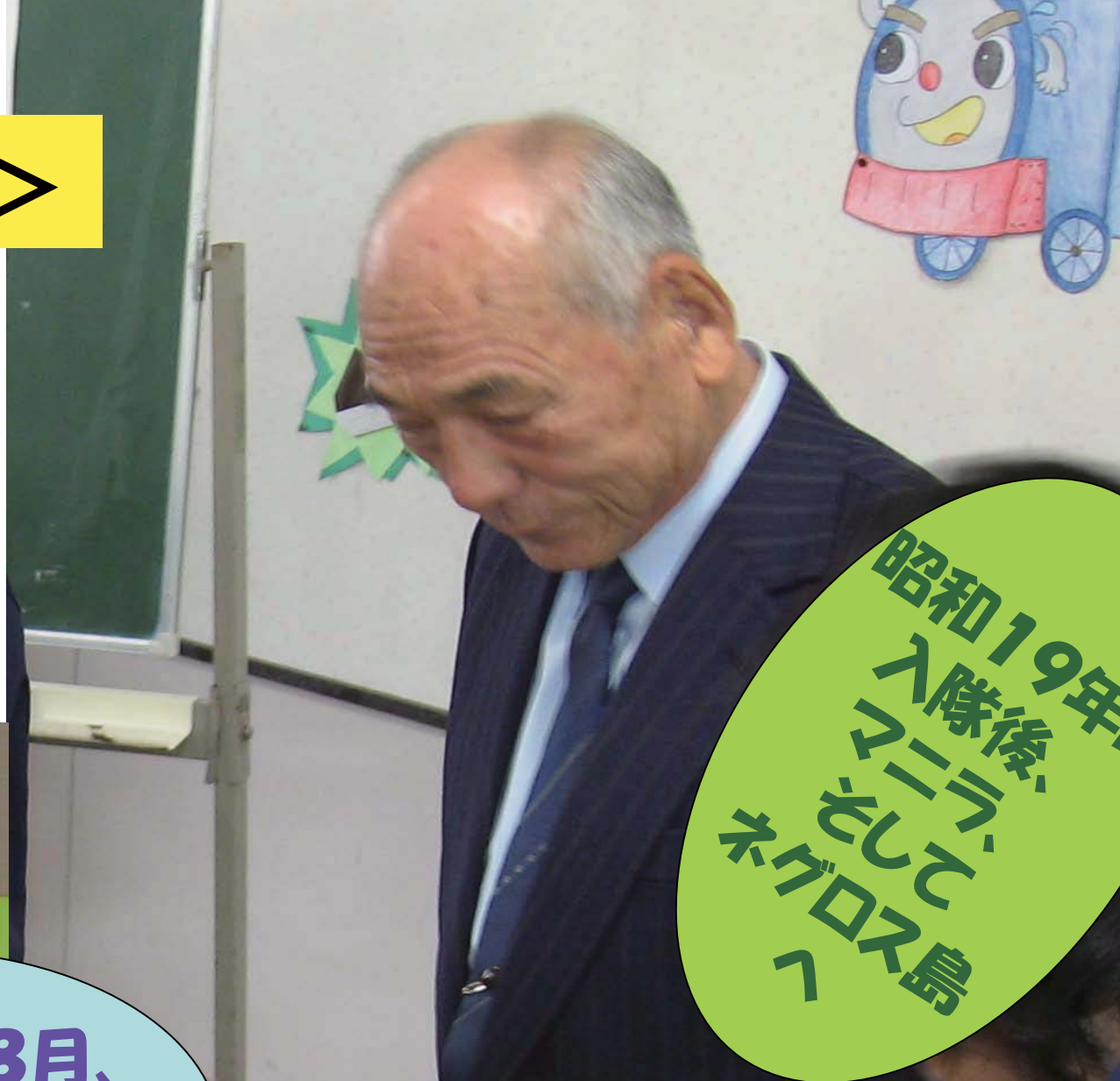


**<3月7日(日)>**

**永野 平蔵氏**  
(南方戦線体験者)



昭和19年  
入隊後、  
マニラ、  
として  
ネグロス島  
へ



昭和20年8月、  
樺太から引揚船に。  
北海道留萌着

**<3月13日(土)>**

**吉田 勇氏**  
(引揚げ体験者)

**3月14日(日)**



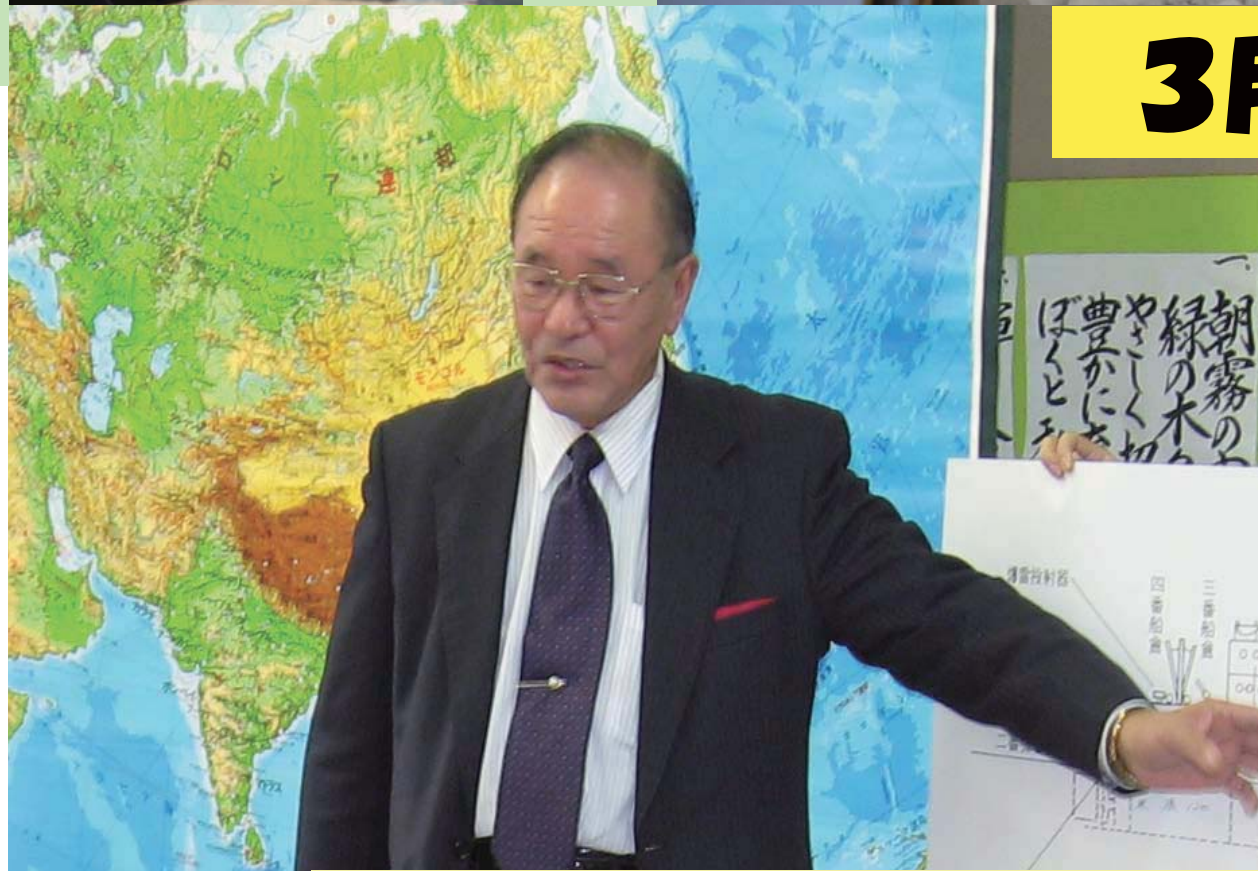
**遠藤 尚次氏**

← (シベリア抑留体験者) →



**齋藤 邦雄氏**

**3月20日(土)**



**吉田 勇氏** (引揚げ体験者)

イマン収容所ほか5ヶ所で抑留体験。

イルクーツク収容所ほか3ヶ所で抑留体験。  
現在、漫画家。

**3月20日(土)**

<3月21日(日)>

萱野 明 氏

(中国・南方戦線体験者)



北支での任務後、南方に派遣され、ソンソル島で守備隊として任務に就きました。終戦から数日経って、米軍機の投下した通信筒で終戦を知りました。

## 猪熊 得郎氏

(シベリア強制抑留体験者)

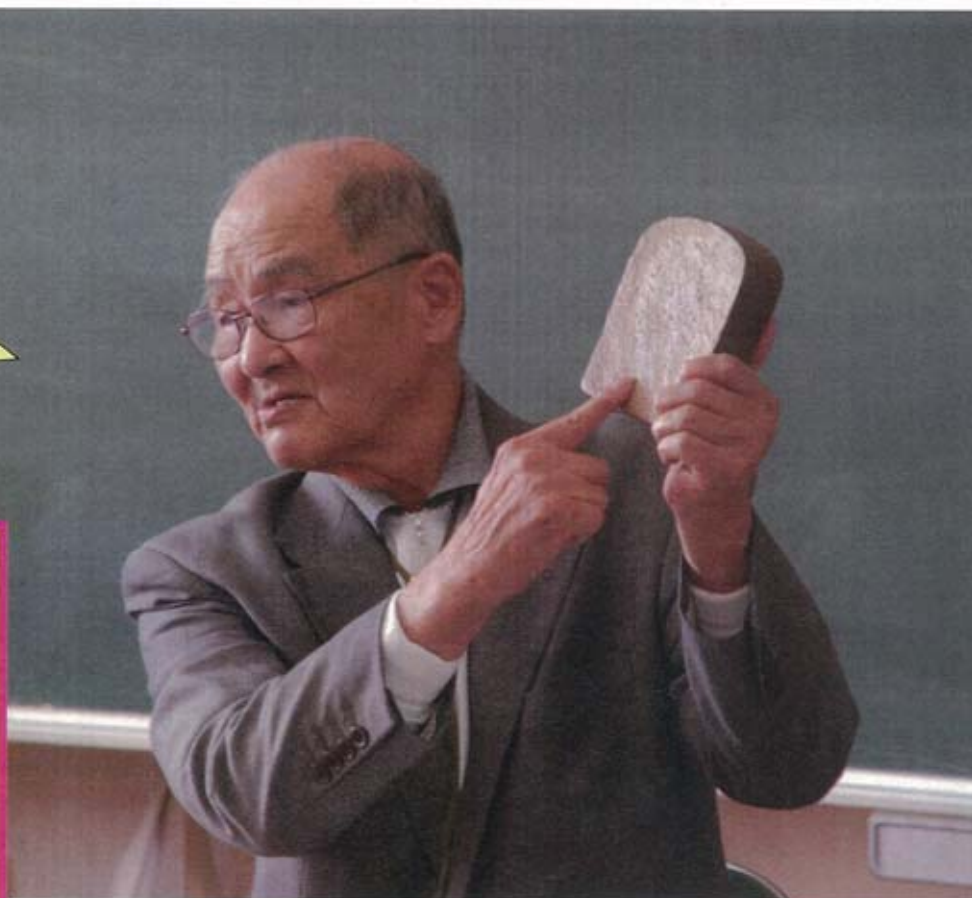
パンとカーシャという薄いスーフだけの食事。しかし、最も辛かったのは、いつ帰れるか分からない希望のない精神状態でした。

3  
月  
22  
日  
(月)

満ソ国境要塞地帯に勤務、昭和20年8月のソ連軍の侵攻に直面。激戦の中を生き抜き、脱出するも・・・

## 大矢 東氏

(中国戦線体験者)





川村  
傳氏

(中国戦線体験者)



吉田  
勇氏

(樺太引揚げ体験者)

3月27日(土)

戦車機動歩兵。  
戦車から降りての戦いの時、  
敵に囲まれ、たまらず避難  
穴に入ろうとしたら、他の  
兵士が先に入ってしまった。  
もうダメかと思った瞬間、  
その穴に直撃弾があたり、  
先に入った兵士は戦死して、  
私は助かった。



斉藤 邦雄氏 (強制抑留体験者)

引揚船が北海道留萌  
沖に来た時、潜水艦の  
攻撃を受けたのです。  
メインマストが折れ、  
下敷きになって亡く  
なった人々。魚雷が命  
中した付近は死体の  
山。そんな中、船が沈  
まないよう大人と一緒に  
なって懸命に海水を  
掻き出しました。

満蒙開拓青少年義勇軍に志願し、満州で終戦を迎えました。抑留された時は、まだ15歳でした。極寒のシベリアでの辛く過酷な作業、仲間の死から3年半後に帰国するまでを41枚の紙芝居に仕上げました。脚色のない事実を語ります。



成田 富男氏

(シベリア強制抑留体験者)

< 3月28日 (日) >

いよいよ最終日となりました!



手塚 元彦氏 (引揚げ体験者)



鈴木 忠典氏 (元海軍少年志願兵)